

昨年(2007)は記録的な暖冬で幕があけ、梅や桜の開花も早まりました。

梅雨の入りと明けは、関東では平年よりそれぞれ2週間から10日も遅れましたが、8月に入ると一転して猛暑となり、埼玉県などでは40.9℃の日本最高気温が記録されました。

9月以降も気温は高めに経過し、秋の紅葉も地域によっては大幅に遅れるなど、日本の「春夏秋冬」の移ろいに、微妙な変化を感じた一年となりました。

【2008年1月の気象暦】

- ▽ 1日 「元日」 初日の出
- ▽ 6日 「小寒」(二十四節気)
- ▽ 8日 月相 ● 朔
- ▽ 21日 「大寒」(二十四節気)
- ▽ 22日 月相 ○ 望

初日の出は、午前6時49分、方位角118.5度(東南東の方向)から昇ります。

市内の初日の出スポットはたくさんありますが、自分の立つ場所から見通せる水平線(地平線)までの距離は、どれくらいでしょうか？

地球は丸いため水平線(地平線)の見える範囲には限界があります。この計算には中学校の三年で学習する「ピタゴラスの定理」を用います。その結果得られたおおよその距離は次のようになります。

標高 (眼の高さ)	水平線(地平線)までの距離
1 m	3.6 km
100m	36 km
1000m	113 km
2000m	160 km

市内の展望の良い場所の例では、吉田正音楽記念館(標高123m)が約40km、助川山市民の森頂上(同328m)では約65km、神峰山頂上(同598m)が約87kmということになります。

日 立 の 気 候 表

	12月	1月	2月
平均気温	7.2℃	4.5℃	4.4℃
降水量	31.3mm	46.3mm	61.9mm
日照時間	189.9時間	195.0時間	173.0時間

平年値(1971~2000年)

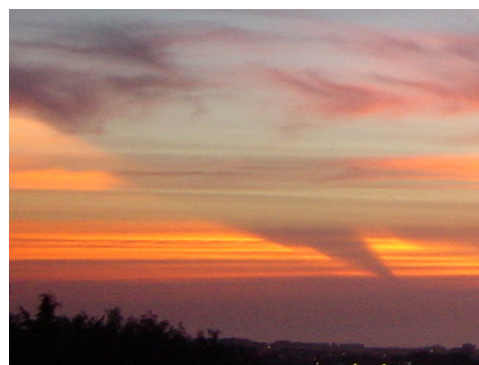
< 気温・降水量確率予報：関東甲信地方 >

1月は平年同様に晴れの日が多く、寒暖の変動が大きく、気温・降水量ともに平年並の確率が高くなっています。



【気象現象の不思議】 「天女の帯」

日の出や日の入りのころに現れる太陽の光と雲が創り出す現象。空を飛ぶ天女の帯がたなびいているように見えることからこの名が付いている。



写真は夜明けに日立の太平洋上に現れた「天女の帯」。太陽の方向にある厚い雲の影が、その上空に広がる薄い雲に放射状の長い帯のように映し出されている。この帯は時には空の端から端までも伸びることがある。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>

行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。

電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP電話 050-5528-5066 へどうぞ。